


武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール延伸促進事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
目的	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現に向けて、市内の機運醸成や促進活動の活性化を目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	モノレール早期延伸をPRするための物品の作製及び販売や市民組織と連携した促進活動を実施する。また、東京都等の関係機関への要望活動を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	情報誌モノレールの発行回数	回	目標	6	6
			実績	5	7	
			達成率	83%	117%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)	660	1,515	576
財源内訳			
一般財源	617	261	0
国都支出金	43	0	0
その他	0	1,254	576
人件費			
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,192	2,712	2,599
所要人員(人)	0.27	0.34	0.34
会計年度任用職員(千円)	0	0	0
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)	2,852	4,227	3,175


市民・議会等から寄せられた意見	
令和2年第1回定例会において、早期延伸を実現するため、市民と一体になった一層の促進活動が必要であるとの意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>令和3年度は、情報誌モノレールの発行(7回)、PR用カレンダー、マスク、エコバックを作製し、市役所1階市政情報コーナー等で販売を行った。</p> <p>また、市民からモノレール早期延伸を願うキャッチフレーズを募集し、選定したキャッチフレーズを掲載した懸垂幕を市民駐車場内にあるホースタワーに掲げた。</p> <p>さらに、市役所北側にあるモノレール延伸PR看板について、武蔵村山市第五次長期総合計画に掲げる将来都市像に合わせるため、盤面シートの交換を行った。</p>	<p>令和4年の都知事施政方針において、「令和4年度、都市計画等の手続に着手する」との発言があったところであり、延伸に向けてモノレールの利用需要の創出につながるまちづくりのより一層の推進が必要となる。</p>

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>東京都等の関係機関と連携を取りながら、引き続き、モノレール延伸の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレールのまちづくりの在り方を検討していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市モノレールを呼ぼう！市民の会交付金交付要綱		
	目的	市民等が主体となって行うモノレール促進活動の充実を図り、もって多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市民の会が行うモノレール促進活動に必要な経費のうち、補助対象経費（謝礼金、打合せ経費、消耗品費、備品費、印刷経費、役員費、委託料、レンタル・リース経費、工事費、その他経費）に対し交付するものであり、上限額は150万円である。			
対象（交付先）	モノレールを呼ぼう！市民の会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市民の会会員数（個人会員、サポート会員）	人
			実績	2,037	1,715	
			達成率	—	—	
2	市民の会会員数（団体会員、賛助団体）	団体	目標	—	—	—
			実績	54	54	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	1,232	1,500	1,200		令和2年第1回定例会において、市民の会との協働体制を充実させ、1日も早い延伸の実現をお願いしたいとの意見があった。
一般財源	484	337	0		
国都支出金	748	1,163	0		他市等の状況
その他	0	0	1,200		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77		
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,314	1,580	1,277		


収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	2,866	3,523	3,272		交付金額（千円） 1,500
市補助金	1,232	1,500	1,200		事業費 1,328
会費	398	449	500		役務費 172
繰越金	1,236	1,574	1,516		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	56		
総額（千円）	2,866	3,523	3,272		
支出					割合（％）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 43%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 45%
事業経費	976	1,328	1,500		交付金額に対する繰越金の割合 105%
その他	1,890	2,195	1,772		

視点別の分析	項目	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、本補助金を通じて、下記の取組が行われた。 ●モノレールを呼ぼう！市民の会の10年間の活動成果をまとめたDVDを製作し、会員に配布 ●ホームページのリニューアル	令和3年度の決算において、翌年度への繰越金が1,516,076円となっており、補助上限額の150万円を上回る状況であるため、今後の補助金交付について検討する必要がある。

令和4年度の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が開催できていないこと、直近3年間の補助金交付確定額に還付金が生じていることなどから、令和4年度予算額を120万円としている。</p> <p>令和4年の東京都知事の施政方針において「今年度、都市計画等の手続きに着手する」との発言があり、モノレール延伸に向けた取組は着実に前進している状況である。今後、早期延伸の実現に向けて、交付金の活用内容について、「まちづくりを市民に伝える役割」や、「市民が期待する武蔵村山市のまちづくりを検討するような活動」に充てることを検討していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上	○			維持				低下			
	今後の方針																						
	コスト																						
		削減	維持	増加																			
向上	○																						
維持																							
低下																							
	(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール関連調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
目的	モノレール延伸後を見据えたまちづくりの方向性を示した「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げる各施策の実施に向けた調査を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	調査については、まちづくりの前提条件、方向性の整理、まちづくり単位の設定及び方針の設定、詳細検討を実施し、まちの将来計画資料を作成する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	※まちづくりの具体化に向けた調査になるため、指標の設定が困難。	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		3,575	5,247	6,556
財源内訳	一般財源	1,792	0	6,556
	国都支出金	1,783	0	0
	その他	0	5,247	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,435	2,633	2,522
	所要人員(人)	0.30	0.33	0.33
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		6,010	7,880	9,078


市民・議会等から寄せられた意見	
平成30年9月の決算特別委員会において、新青梅街道の拡幅事業の用地取得が進むことにより、さらに市民の関心も深まってくることから、市内延伸の早期実現に向けて市長を先頭に職員の皆様に頑張っていたきたいとの意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げる各施策の実施に向け、新駅周辺等のまちづくりの具体化に向けた調査を実施した。	東京都及び関係市町と連携しながら、多摩都市モノレール利用者の創出につながる沿線のまちづくりに取り組む必要があり、関係機関との調整が重要となる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
東京都と、本市、東大和市及び瑞穂町の2市1町で連携し、「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げる各施策の実施に向け、新駅周辺等のまちづくりの具体化に向けた調査内容の深度化を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道沿道交通施設等調査検討事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線	272
	根拠法令等	都市計画法、道路法				
目的	多摩都市モノレール延伸に係る検討業務の進行に伴い、今後モノレール新駅に必要とされる各種交通施設について調査検討する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	自転車駐輪場設置に向けた検討、駅前広場等基本計画の検討などを行う。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	業務計画の円滑な推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
事業費（千円）		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳	一般財源	0	6,985	7,524			
	国都支出金	-	0	0			
	その他	-	0	0			
会計年度任用職員以外の職員（千円）		1,056	1,037	1,987			
人件費	所要人員（人）	0.13	0.13	0.26			
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）		1,056	8,022	9,511			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
モノレール新駅周辺における自転車駐輪場の設置について、規模等の調査検討を行った。 駅前広場整備について、調査検討を行った。	多摩都市モノレールの延伸計画の進捗や周辺の土地利用動向を踏まえて、整備時期等について調査検討が必要である。


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

モノレール新駅の各駅前や周辺に駐輪場を整備し、駅勢圏拡大による来訪者の利便性、快適性の向上を図るため、多摩都市モノレールの延伸事業に進捗に合わせて、本事業による成果の更新等を必要に応じて実施していく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域公共交通検討事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	道路運送法、武蔵村山市地域公共交通会議設置要綱		
目的	市内循環バス「MMシャトル」、乗合タクシー「むらタク」等の地域公共交通の抱える課題等を明確にし、更なる改善を図り、旅客輸送の確保と利便の増進、輸送サービスの実現を目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	市民アンケート調査等を行い、課題を抽出をした上で、見直し計画案を作成する。その後、市民説明会やパブリックコメントを実施し、その意見を踏まえ、運行内容の見直し計画を策定するとともに、利用促進等の方策についても検討を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市民説明会の開催回数	回
			実績	0	4	
			達成率	—	100%	
2	地域公共交通会議の開催回数	回	目標	7	3	3
			実績	5	2	
			達成率	71%	67%	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		10,621	7,230	258		令和2年3月の予算特別委員会において、どの人にとっても使い勝手がいい、安心して暮らせるような目的のための地域公共交通であってほしいとの意見があった。
財源内訳	一般財源	2,911	4,280	258		
	国都支出金	7,710	2,950	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,598	3,031	918		
	所要人員(人)	0.32	0.38	0.12		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		13,219	10,261	1,176		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、令和2年度に実施した市民アンケート調査の結果等に基づき、市内循環バス及び乗合タクシーの運行内容の見直し計画案を作成した。その後、市民説明会やパブリックコメントを実施し、寄せられた市民等の意見を踏まえた上で、地域公共交通会議での検討等を行い、見直し計画を策定した。また、利用促進等の方策についての検討も行った。	市民、公共交通の利用者全てが満足のいく運行計画を策定することは困難であるが、利用者数や運行に係る市の負担額などを勘案しながら、改善策を考えていく必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和4年4月から運用する再編による市内循環バス及び乗合タクシーの上半期の利用実績を確認した上で、地域公共交通会議を開催し、今後の方向性について協議を進める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス運行経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス運行経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バス「MMシャトル」の運行を確保し、もって武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	本市と市内循環バス「MMシャトル」の運行に関し協定を締結した事業者について、市内循環バスの運行に要する経費（人件費、燃料油脂費、車両修繕費等）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市内循環バス1便当たりの年平均輸送人員	人
			実績	3.45	3.97	
			達成率	56%	65%	
2	—	—	目標			
			実績			
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	135,000	110,000	105,478		令和4年4月から武蔵砂川ルート及び西ルートを廃止しているが、対象地域の市民からは不便になったとの声がある。
一般財源	74,393	74,000	70,228		
国都支出金	60,607	36,000	35,250		
その他	0	0	0		
人件費	244	320	306		他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体（立川市、昭島、国分寺市、国立市、瑞穂町）においても同様の補助がある。
所要人員（人）	0.03	0.04	0.04		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	135,244	110,320	105,784		


収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	160,591	141,438	136,800		交付金額（千円） 110,000
市補助金	135,000	110,000	105,478		事業経費 28,944
会費	0	0	0		人件費 81,056
繰越金	0	0	0		
事業収入	25,591	31,438	31,042		
その他	0	0	280		
支出	162,658	177,008	137,581		割合（％）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 78%
人件費	124,022	132,835	105,314		団体収入に占める繰越金の割合 0%
事業経費	23,991	28,944	20,723		交付金額に対する繰越金の割合 0%
その他	14,645	15,229	11,544		

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の影響により、市内循環バスの利用者数が評価指標の目標を下回ったが、大きな事故等も無く、一年間無事に運行することができた。	事業者の支出額から事業収入を控除した額が、本補助金の上限額を上回っている状況であることから、毎年補助限度額を交付している。市及び事業者が互いに緊張感を持ち、創意工夫を持った取組につなげるため、事業者の収入増加への取組や利用実績に基づき、補助額を毎年算定できるような仕組みを構築することも一つの方法と考える。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																				
低迷する利用者数の改善を図るため、運行計画の見直しを実施し、令和4年4月1日から武蔵砂川及び西ルートを廃止し、上北台及び玉川上水ルートの2ルートで運行を行う。それに伴い、令和4年度の補助上限額を1億1,000万円から8,800万円に削減とする。令和5年度は、人件費の見直しがあり、補助上限額を1億円に増加させるが、今後については、モノレール延伸に伴うバス路線再編に関する基本方針を定め、より効率的なルートに再編していく。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持																				
低下																				
	(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																			

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス車両購入経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス車両購入経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バスの運行を確保し、もって武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市内循環バスの運行に関し協定を締結した事業者が購入した車両に係る経費を補助する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助対象となる車両台数	台
			実績	7	6	
			達成率	100%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	22,992	24,830	15,504		令和3年3月の予算特別委員会において、市民の声を吸い上げた形で、市内循環バスの運行をよりよいものに向けていってほしいとの意見があった。
一般財源	14,992	16,830	15,504		
国都支出金	8,000	8,000	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体において、本市と同様に車両に対する単独の補助事業を実施するところはない。
所要人員（人）	0.03	0.04	0.04		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	23,236	25,150	15,810		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	22,992	24,830	15,504		交付金額（千円） 24,830
市補助金	22,992	24,830	15,504		車両償却費 24,830
会費	0	0	0		
繰越金	0	0	0		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 100%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 0%
事業経費	22,292	24,830	15,504		交付金額に対する繰越金の割合 0%
その他	0	0	0		

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、新規の車両購入はなく、平成28年度購入の2台、平成30年度購入の2台、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計6台の車両償却費について補助を行った。	現在の車両は走行距離約80万キロを買替えの目安としている。そのため、年度末時点で各車両の走行距離を確認して新規車両の購入時期を想定し、予算計上を行う必要がある。


令和4年度の方針  
 拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持	○		
低下			

新規車両購入の予定は無く、平成28年度に購入した2台の車両の返済が令和3年度で完了しているため、平成30年度購入の2台、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計4台の車両償却費について補助を行う予定である。

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	乗合タクシー運行事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市乗合タクシー運行事業実施要綱 武蔵村山市乗合タクシーの同乗者利用の試行に関する要領		
目的	市内循環バス「MMシャトル」の利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、廃止沿線地域（市南西地域）を対象とした乗合型の交通システムを導入する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	利用対象者の自宅と指定した乗降場所（市内公共公益施設）を結ぶ公共交通として、デマンド型の乗合タクシー「むらタク」を運行する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	利用者数	人
			実績	2,979	3,774	
			達成率	66%	84%	
2	利用登録率 ※令和4年度から利用登録対象地域が拡大し、対象地域の人数が増加しているため、目標値が減少している。	%	目標	10.00	10.00	6.00
			実績	8.85	9.19	
			達成率	89%	92%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		7,790	7,791	18,072	
財源内訳	一般財源	7,287	7,141	15,961	
	国都支出金	0	0	154	
	その他	503	650	1,957	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,166	3,829	2,599	
	所要人員（人）	0.39	0.48	0.34	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		10,956	11,620	20,671	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
登録者数や利用者数の拡大のため、制度の周知を行った（市報等による広報、出張説明会及び利用者登録受付の実施）。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、むらタクの利用者数が評価指標の目標を下回った。	登録者数や利用者数の拡大のため、制度のより一層の周知が課題となる。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年4月1日から市内循環バス「MMシャトル」の武蔵砂川及び西ルート廃止し、上北台及び玉川上水ルートの2ルートで運行を行うことに伴い、運行を廃止した地域（岸一丁目、中原、残堀、三ツ藤）を対象として、乗合タクシーの利用登録可能エリアを拡大し、乗降場所を3か所増設する。 地区会館や集会所での出張説明会及び利用者登録受付を実施し、登録者数や利用者数の拡大につなげていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																								